

3

Once upon a time, in a small town of a country, there were a mother and her two daughters living together.

While the older sister, Marie, was both very beautiful and hardworking, the younger sister Rose was a really lazy girl.

However, the mother was always doting on only the younger sister, Rose. This was because she was Marie's stepmother and Rose was her own child. Marie's father has already passed away from illness.

The mother and Rose forced Marie to do all the household chores, from cleaning, cooking, to caring for their farm animals.

That day, Marie was doing some washing in front of the well in the garden.

When Marie tried to wash her spindle, it accidentally slipped out of her hand and fell into the well.



5

"Oh no! It's no good. If I lose it, mother will be very mad for sure..."

Marie then, looked inside the well. The bottom of the well was pitch-black and she couldn't see anything down there. To get the spindle back, Marie went down to the bottom of the well.

"Wow, it's unbelievable...what in the world is going on here!?"

Surprisingly, the bottom of the well was connected to a mysterious world.

Where Marie was standing was a vast field full of beautiful blooming flowers. The sporadically blowing fresh breeze gently stroked Marie's cheeks.

"Hmm, what do I do? ...First of all, I should find the spindle."



むかし むかし、とある くにの ちいさな まちに、
ははおやと、ふたりの むすめが すんでいました。

あねの『マリー』は、とても うつくしくて、
はたらきものでしたが、いもうとの『ローズ』は、
たいへんな なまけものでした。

けれども ははおやは、いもうとの ローズばかりを
かわいがっていました。というのも、この ははおやは、
びょうきで なくなった マリーのちちおやの
さいこんあいてで、ローズは そのははおやの
つれごだったからです。

ははおやと ローズは、いえの しごとを すべて マリーに
おしつけていました。そうじに せんたく、
しょくじの ようい、かちくの せわまで。

そのひ、マリーは にわの いどの まえで、
あらいものを していました。

マリーが しごとで つかっている『いとまきぼう』を
あらおうとしたとき、つい てをすべらせて、
いとまきぼうを いどの なかに おとしてしまったのです。



「たいへん！どうしましょう、あれをなくしたら、
おかあさまに しかられてしまうわ・・・」

マリーは いどの なかを のぞきこみました。
いどの そこは まっくらで、なにもみえません。
マリーは いとまきぼうを ひろいに、
いどの そこに おりていきました。

「まあ、信じられない・・・これはいったい どういうこと!？」

なんと いどの そこは、
ふしぎなせかいに つながっていました。

マリーが たっているのは、あたりいちめん、きれいな
はなが さきみだれる、ひろい のはらでした。
ときおりふく さわやかな かぜが、
マリーのほほを やさしく なでました。

「えっと、どうしましょう・・・とりあえず、
いとまきぼうを さがさなくちゃ」

